

平成25年度 事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	生活道路(市道)改良事業						継続					
コード	24	-	68	-	02	-	00	予算事業名	生活道路(市道)改良			
担当部署	建設部	道路街路課	道路建設担当	予算事業コード	会計	10	款	08	項	02	目	03

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)			位置付けなしの場合	法令による実施義務	義務
基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	実施計画事業名	生活道路(市道)改良事業	
方向性(節)	2節	交通ネットワークの構築	個別計画等の名称	なし	
施策	1	道路交通体系の整備	当事業に関連する事務事業	地区整備計画推進(道路改良)	
細施策	3	安全で人にやさしい生活道路の整備			
事業実施の根拠となる法令・条例等	道路法・道路構造令・租税特別措置法・収用法・騒音及び振動規制法等				

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	道路利用者を対象に集落地内の適切な土地利用を促進し、地域の防災力を強化するなど、安全で安心な生活環境の形成・維持を目的とする。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	測量及び設計を業務委託して、事業実施のための説明会を開催し、計画線について了承を得た後、事業用地面積を確定し、用地課にて用地買収、物件調査を実施。同意を得た後、道路改良工事を実施する。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額					334,200	
(25年度予算額大幅増/減の理由)						
事業費 A					334,200	532,755
人件費 B	0	0	0	0	36,025	36,025
総コスト(C=A+B)	0	0	0	0	370,225	568,780
正規職員(1年間の従事人数)					4.91人	4.91人
臨時職員(1年間の従事人数)					0.00人	0.00人
国県支出金 D					0	0
その他特定財源 E					0	0
市の財政負担(=C-D-E)	0	0	0	0	370,225	568,780

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
活動 測量・線形計画数	件	12	5	3	5	7	26年度 23
指標の定義・説明	1年間の策定件数						
活動 計画説明会数	回	2	2	2	0	1	26年度 3
指標の定義・説明	1年間の実施回数						
活動 道路改良工事整備延長	m	1,935.4	2,639.0	2,753.3	2,580.8	1,860.0	26年度 6,060.0
指標の定義・説明	1年間に行った工事延長(当該年度)						
	m						年度
指標の定義・説明							
指標に基づく評価	集落地内の適切な土地利用を促進し、地域の防災力を強化するなど、「安全で安心な生活環境の形成・維持を目的とする」という広範囲の内容であり、用地買収を伴うため、成果指標は設定が不可能である。又、地域からの要望路線は多く、順次実行しているが、陳情・要望の未処理分が減らない。						

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	公平性に課題
本事業は、自治会等を通じて提出される陳情・要望に基づき行う道路整備であるが、陳情・要望の件数に予算が対応できない状況であり、今後は地元及び関係機関と協議をし、費用対効果等により優先路線の選定を考慮する必要がある。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
具体的な調査実績はない。	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
総合計画の中で「道路交通体系の整備」に掲げられており、道路交通体系に基づき、地域における生活道路の整備を図りつつ、歩行者が安心して歩ける道路づくりのために、本事業は、重要な役割を担っているため、その計画が大きく後退する。	

平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		建設部				道路街路課	道路建設担当
事務事業名称		24	68	02	00	生活道路(市道)改良事業	
今後3年間の方向性	25年度	継続					
	26年度	継続					
	27年度	継続					